

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。（20点）

-
- ①インターンシップに応募したいが、自己分析や業種・職種の絞り込みなど、具体的にどうすればよいかわからなくて困っている（CL1とCL2）。
 - ②インターンシップに応募しなければならないが、何も準備ができていなくて焦っている（CL2）
 - ③自分の長所や得意なことと結び付けて志望動機を書くが、難しいと感じている（CL3）
 - ④志望動機といってもどこに応募しているか分からない（CL5）
 - ⑤応募する業界については、通いやすいところであればどこでも良いと思っている（CL6）
-

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。（20点）

*①自己理解、②仕事理解、③長期のキャリア・ライフプラン、④コミュニケーション、⑤性格や考え方の特徴（自己肯定感・自己効力感）などで、考えていきます。

（要素）

-
- ①自己理解に関して：自己分析のやり方がわからず、能力や適性、興味・関心について理解していない
 - ②仕事理解に関して：業界研究のやり方がわからず、働きたい業種や職種を絞り込んでいない
 - ③長期のプランに関して：就活に向けた活動や卒業後の働き方についての理解が進んでいない
 - ④コミュニケーションに関して：友人やゼミの先輩とのコミュニケーションが不足している
-

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どのようなことを実施したいか、あなたの具体的な方策を記述せよ。

*目標は、問1と問2を総合したものであること（問1で示した「相談者が訴えている問題」と問2で示した「キャリアコンサルタント視点で捉えた問題」を解決する目標であること）が必要

*「方策」は、その「目標」と関連づけながら、具体的に、もれなく記述

【目標】（記述の要素）

CLがインターンシップに応募するに際して、CLが自己理解を深め、仕事理解を行えるようになり、長期のキャリアプランやライフプランを明確にした上で、友人や先輩とのコミュニケーションも図って、具体的にどうすれば良いかを判断できるように支援する。

【具体的な方策】（記述の要素）

CLの話を傾聴し、不安な気持ちを受け止めて、CLの問題の本質を把握する。

その上で、

- ①自己理解について
- ②仕事理解について
- ③長期のキャリア・ライフプランについて
- ④友人や先輩とのコミュニケーションについて CLが行うべきことを記述し、

CLが、インターンシップに応募するために、自己分析のやり方や業種・職種を絞り込む方法について、具体的にどのように行えば良いかを把握できるように（どのように行えば良いかについて意思決定できるように）支援する。
